

# 2002年度 (2003年3月期) 決算説明会

---

2003年5月21日

 **大正製薬株式会社**

# 2002年度決算の概要(1)

	2002年度 実績 (億円)	前年比増減 (億円) (%)		対予想 (億円)
売上高	2,741	+27	1.0%	+6
営業利益	544	-63	-10.4%	-6
経常利益	609	-66	-9.8%	+4
当期利益	354	-20	-5.3%	+2
EPS (円)	105.8	-4	-3.5%	

# 2002年度決算の概要(2)

## • 売上増減要因

### < 増収 >

- パブロンシリーズ (+20億円)
- Livitaブランド(+13億円)
- クラリス (+12億円)

### < 減収 >

- パルクス (27億円)
- リアップ等 (8億円)
- ソロン (7億円)

## • 利益増減要因

### < 費用減 >

- 研究開発費 (27億円)
- 広告宣伝費 (16億円)

### < 費用増 >

- 富山開発品販売権  
取得(約70億円)
- 販売促進費 (+27億円)
- 減価償却費 (+26億円)

# 2002年度決算の概要(3)

---

## 貸借対照表上の変化

- 総資産の減少は、自社株買い、有価証券差額金（含み益）の減少が主因
- （資産の部）
  - 有価証券 投資有価証券からの振り替え
  - 建物及び構築物と建設仮勘定 本社2号館と大宮物流センター等
  - 営業権・商標権 富山化学の大衆薬、ヴィックスなど
  - 繰延税金資産 委託研究費関連（減少）、販売権の取得費用（増加）
- （資本の部）
  - その他有価証券評価差額金
  - 自己株式 227億円余（+193億円）

# 2002年度決算の概要(4)

---

## 株主還元策の実施

- 自社株買い入れ実施  
2002年度中 9,817千株、188億円
- 配当  
90周年記念配5円を加え、年30円に増配の予定

# 2003年度業績見通し

---

	2003年度 実績 (億円)	前年比増減	
		(億円)	(%)
売上高	3,100	+359	13.1%
営業利益	569	+25	4.6%
経常利益	617	+8	1.4%
当期利益	354	+0	0.0%
EPS (円)	107.2		

## 2003年度見通しのポイント(1)

---

- 大正富山医薬品が4月にスタートした。売上のシナジー効果の早期実現を目指す。(決算上、富山製品分の売上・営業費用が加わる)
- セルフメディケーション事業は、引き続き積極的な新製品投入とマーケティング強化

## 2003年度見通しのポイント(2)

---

- コストコントロールを進めるが、一時的に費用が増える部分もあり、増益ペースは鈍い見通し
  - (前年比減少を見込むもの)
    - 大正富山にかかる一過性費用 (販売権を含む)
    - 減価償却費 (大型投資は終了)
  - (前年比増加を見込むもの)
    - 販売促進費 (富山品分を含む)
    - 基幹業務システムに関するリース費用
    - 研究開発費 (ただし中期トレンドとしては増加抑制)
    - 退職給付費用の割引率、期待運用収益率低下に伴う費用



# セルフメディケーション事業(1)

- 2002年度売上 1951億円 (1%増)

単位：億円

	02年3月期 (01年度)	(当期) 03年3月期 (02年度)	前年比	(予想) 04年3月期 (03年度)	前年比
セルフメディケーション事業	1,924	1,951	1%	1,995	2%
ドリンク剤	1,137	1,129	-1%	1,144	1%
リポビタンシリーズ	1,026	1,020	-1%	1,030	1%
リポビタンD	772	779	1%	790	1%
感冒薬	267	287	7%	295	3%
胃腸薬	54	53	-2%	53	0%
リアップ等	185	177	-4%	174	-2%
Livitaシリーズ	-	15	NM	25	67%

## セルフメディケーション事業(2)

---

- 2002年度の市場環境は引き続き厳しかった  
大衆薬市場は前年比およそ5%減  
食系チャネルの部外品ドリンクも頭打ち
- そのなかで当社は健闘
  - 新製品 (新成分・新剤型) 投入、新市場開拓  
パブロン、リアップ120ml、Livitaシリーズ
  - ドリンク剤の戦略  
営業強化  
製品のリニューアル

## 2002年度 :SMG新製品発売実績

---

4月	イーメンアイススプレー	10月	パブロンせき止めゼリー リポビタミン8II 与滋元
5月	抗菌アイリス	11月	大正胃腸内服液 パブロン点鼻S こどもパブロン鼻炎液S
6月	アバロンZ プレリアップマッサージトニックEX	12月	リポビタミン11ローヤル (女性用リアップ申請)
7月	(ヴィックストロップ販売開始)	1月	(ヴィックストロップ直販開始) ダマリンエース
8月	パブロンエース顆粒	2月	センバアQTジュニア ピタリット グルコケア
9月	リアップ120ml	3月	ダマリクールパウダー メンフラクール<IM>

---

## セルフメディケーション事業(3)

---

- 2003年度売上予想 1,995億円 (2%増)
- 新製品の投入  
新成分、新剤型をはじめ、オーラルケアなど新領域にも注力、生活者のニーズを見極めた製品投入
- 特定保健用食品Livitaブランドの拡充  
2003年2月には、コレステケアに続き、抗高血糖飲料グルコケアを発売  
今期も製品ラインナップを強化
- 女性用リアップ (2002年12月申請)

## 2003年度 :SMG新製品発売計画

<p>&lt; 第1四半期 &gt; レステイ錠 (催眠鎮静剤) デントウェル 薬用 JVC (歯磨き) 新剤型便秘薬</p>	<p>&lt; 第3四半期 &gt; 新部外品ドリンク 新保健薬 新成分風邪薬</p>
<p>&lt; 第2四半期 &gt; 風邪薬強化品 新保健薬 痔疾用薬 富山化学導入品</p>	<p>&lt; 第4四半期 &gt; 女性用リアップ (02年12月申請) 「Livita」ブランド新製品 富山化学導入品</p>

注 :発売済みのもの (赤字)を除き、すべて現時点での予定ですので、変更の可能性がります。また、一つの項目につき1製品とは限りません。

# 医薬事業 (1)

- 医薬事業売上 2002年度実績 790億円 (横ばい)

単位：億円

	02年3月期 (01年度)	(当期) 03年3月期 (02年度)	前年比	(予想) 04年3月期 (03年度)	前年比
医薬事業	790	790	0%	1,105	40%
クラリス	259	271	5%	286	6%
パルクス注	172	145	-16%	140	-3%
ペントシリン	-	-	-	93	-
トミロン	-	-	-	60	-
ロルカム錠	34	42	24%	59	40%
アンカロン	26	35	35%	46	31%
オゼックス	-	-	-	41	-
ルプラック	-	-	-	20	-
パシル	-	-	-	18	-
ホーネル錠	2	4	100%	7	71%

## 医薬事業 (2)

---

- 2002年度医療用医薬品市場 4%増
- 薬価改定 6.5% (業界平均6.3%)
  
- 当社主力品は、マクロライド系抗生物質クラリスが健闘、消炎鎮痛剤ロルカム、不整脈治療薬アンカロン等も伸長
- パルクスは薬価改定の影響に加え、競争激化

## 医薬事業 (3)

---

- 2003年度予想 1,105億円 (40%増)
- 大正富山医薬品  
売上における統合効果の早期実現を目指す  
2003年度計画  
売上高 950億円  
営業利益 約2億円
- 収益性の向上のため、両社の拠点数 (大正9拠点、富山化学54拠点)を見直し、全国22支店を含む33拠点体制に。物流面などでも業務効率化を進める。



# 大正富山医薬品 事業構造モデル (除くロイヤリティ, バルク販売)

2006/3期 ~

~ 2003/3期

2004/3期

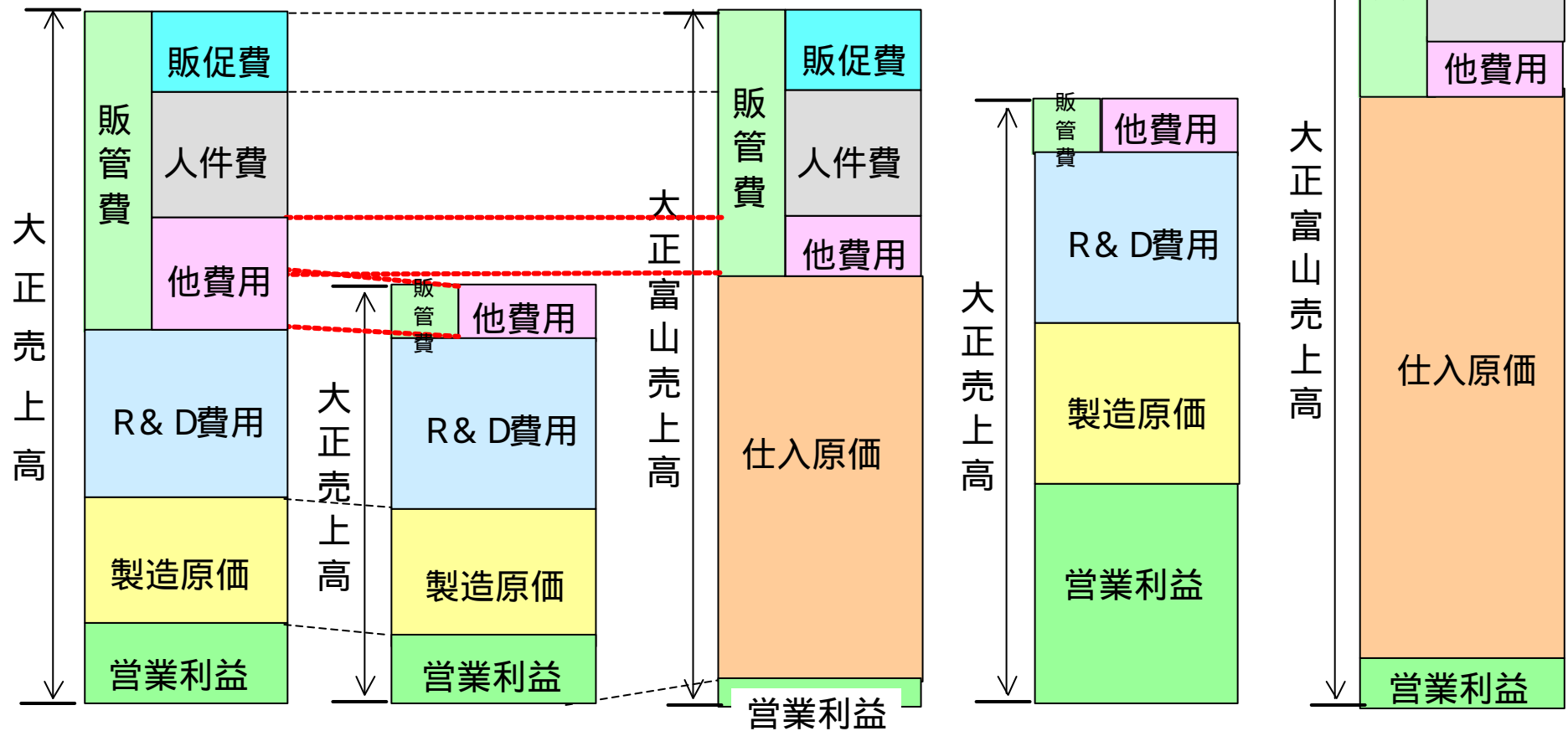
大正富山医薬品  
(大正製品部分)

大正富山医薬品  
(大正製品部分)

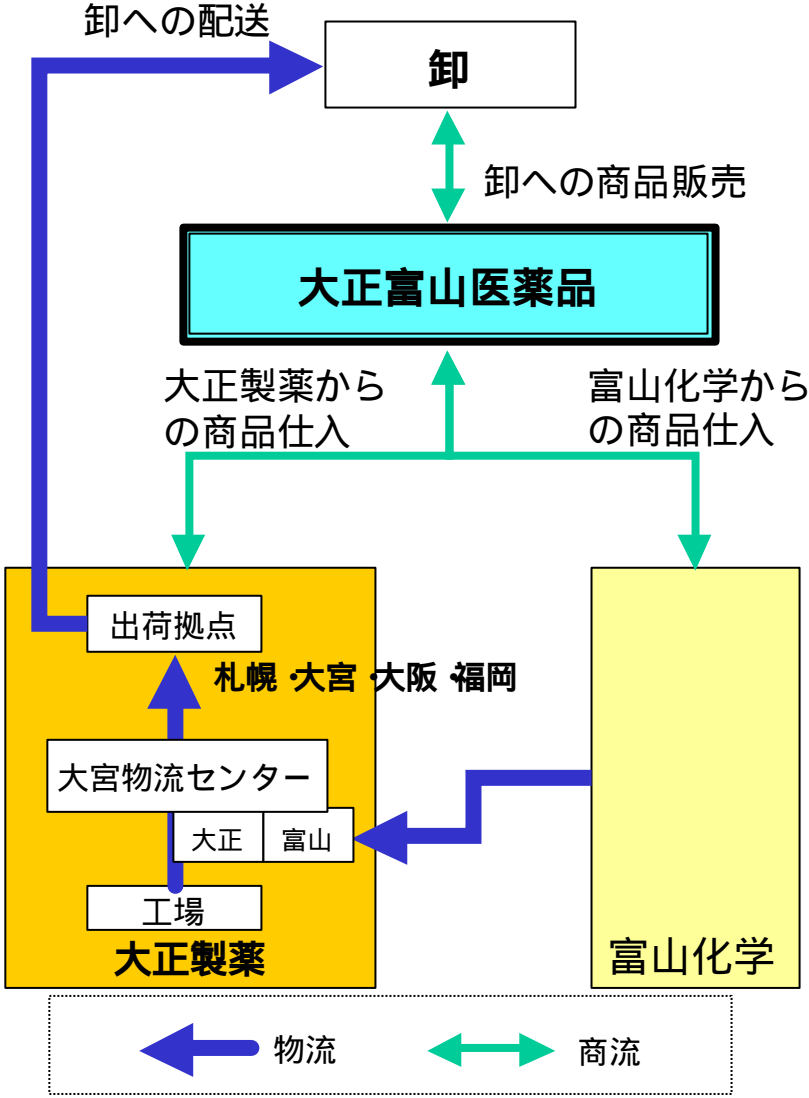
大正

大正

大正



# 大正富山医薬品物流の流れ



**物流業務を大正製薬に集中**  
**— 4拠点に集約**

- 大正大宮工場内物流センターに大正製品・富山製品を集めて保管
- 大正大宮物流センターから卸宛直送又は札幌、大阪、福岡の大正物流センターを経て卸宛配送される

# 研究開発

## 新薬パイプライン : 大正富山発売予定品

(大正)

臨床段階	薬品名	薬効 適応症	自社・共同開発	備考
申請中	クラリス (剤型追加)	抗生物質 錠剤の小型化		
	メトリン (剤型追加)	低血圧症治療薬 口腔内崩壊錠		
	ソロン (剤型追加)	消化性潰瘍剤 散剤の半量化		
フェーズ2	ABT-773	マクロライド系抗生物質 (経口)	アボット	海外はP3中断
	アンカロン (剤型追加)	不整脈治療薬 注射剤		
	NT-702 (NM-702)	PDEIII/V阻害、血小板凝集剤 (経口) 閉塞性動脈硬化症 脊柱管狭窄症	日産化学	米国 日本はP1終了
フェーズ1	ST-152	喘息 (注射)	生化学	米国
	SUN N8075	脳梗塞急性期	サントリー	米国
前臨床	TS-011	脳梗塞急性期	自社	03年臨床入り (予)
	TS-021	II型糖尿病	自社	03年臨床入り (予)
	TS-022	アトピー性皮膚炎	自社	03年臨床入り (予)
	MGS0028 CRA系化合物	統合失調症 うつ病 抗不安	メルクに導出 ヤンセンと共同	

(富山化学)

臨床段階	薬品名	薬効 適応症	自社・共同開発	備考
申請準備中	T-614	慢性関節リウマチ (DMARDs)	エーザイ	
フェーズ3 (経口)	T-3811	ニューキノロン系合成抗菌剤 (経口・注射)	ブリストル・マイヤーズ	国内 注射P1 米国は申請準備中 (経口・注射)
フェーズ2	T-588	アルツハイマー型痴呆症	自社	英国
前臨床準備中	T-5266	慢性関節リウマチ (AP-1阻害剤)		

# 研究開発

---

- 新薬パイプライン :今年度臨床入りテーマ
- 

2003年度

2004年度

---

TS-011 (脳梗塞)

うつ・不安

TS-021 (II型糖尿病)

睡眠障害

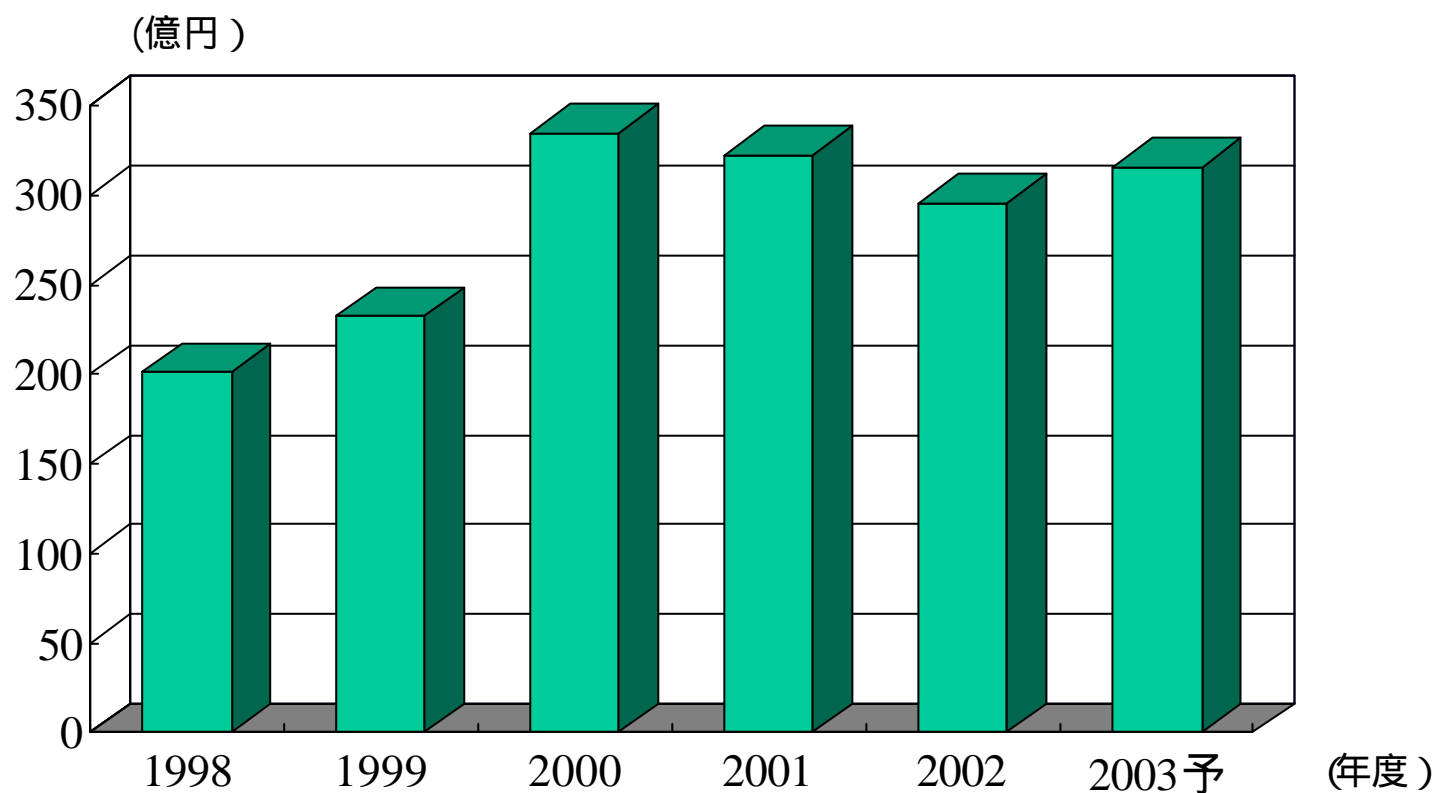
TS-022 (アトピー性皮膚炎)

I&II型糖尿病

---

自社で開発を予定している新薬のみ。下線は国内開発を先行させる予定。この他にメルクに導出したMGS0028、ヤンセンとの共同開発になるCRA化合物が臨床入り予定。

# 研究開発費の推移



自社品が臨床段階入りの時期を迎えるが、当面、大きな増加は見込んでいない。効率的な研究開発投資を続ける。

# 研究開発

---

- バイオベンチャーとの提携による開発品は見直しを進めた 残りは4テーマ (うち3つは基礎研究)
- 自社テーマが進捗 (今年度臨床入り予定)
- 導入については、引き続き臨床後期のものについて、積極的に行っていく
- 富山化学との提携 特定領域 (感染症) において業務提携 (内容は検討を進める)